



言語の獲得と喪失

－神経心理学に基づく言語病理の解明－

教育学部児童教育学科 教授 伊澤 幸洋

キーワード

ことばの発達、言語障害指導法、発達障害、学習障害、心理・教育アセスメント

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

言語の獲得と喪失の研究は人間科学の中心的なテーマの一つである。これまで、大脳損傷による後天性の言語障害である失語症に関して多くの研究業績を上げてきた。そこでは、脳損傷部位との関連を踏まえつつ該当する心理検査を適用しながら神経心理学の観点から研究を行ってきた。それらの研究知見を活かし、言語発達障害を呈する児童に対して、大脳の機能局在を想定した障害機序の解明と指導法の研究を行っている。研究対象は、失語症および言語発達障害、限局性学習障害、注意欠如・多動症に伴う言語障害、機能性構音障害等である。現在、読み書き障害のスクリーニング検査の開発、発達障害児の心理アセスメントと指導法の研究を行っている。

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・ことばの発達に関する相談とその支援および指導実践
- ・児童の言語および学習に関する相談
- ・発達障害に関するスクリーニング検査の開発

これまでの連携実績

- ・福山市教育巡回相談事業相談員
- ・福山市ことばの相談室職員研修